

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年08月07日

計画の名称	都市部におけるストック効果を高めるアクセス道路整備による活力ある地域の形成(重点)																					
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)										重点配分対象の該当		○									
交付対象	群馬県,千代田町,前橋市,藤岡市																					
計画の目標	都市部において、ストック効果を高めるための産業団地、鉄道駅等へのアクセス道路整備を実施することにより、活力ある地域づくりに寄与する。																					
全体事業費(百万円)		合計(A+B+C+D)		5,570		A	5,500		B	70		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)		0		%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(H33末)
1	交通拠点からアクセス機能が向上した産業団地、鉄道駅等の箇所数を増加させる。			
	交通拠点からアクセス機能が向上した産業団地、鉄道駅等の箇所数を増加させる。	0箇所	箇所	5箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		H29 H30 H31 R02 R03																		
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)前橋長瀬線(高崎工区) (18-A1)	バイパス L=1.3km	高崎市	■	■	■	■	■	2,100		-	
	A01-002	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)前橋長瀬線及び高崎 玉村線(18-A2)	現道拡幅 L=0.2km	高崎市	■	■	■	■	■	730		-	
	A01-003	街路	一般	千代田町	直接	千代田町	S街路	改築	(都)赤岩新福寺線(18-A4)	バイパス L=0.5km	千代田町	■	■	■	■		150		-	
	A01-004	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	(都)本町線(18-A5)	現道拡幅 L=0.1km	桐生市		■	■	■		500		-	
	A01-005	街路	一般	前橋市	直接	前橋市	S街路	改築	(都)群馬総社駅西口線(18 -A6)	バイパス L=0.36km	前橋市			■	■	■	1,390		-	
	A01-006	街路	一般	藤岡市	直接	藤岡市	S街路	改築	(都)北部環状線(18-A3)	バイパス L=0.5km	藤岡市	■	■	■	■	■	630		-	
												小計						5,500		
										合計						5,500				

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	B01-001	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	-	改築	信号機等設置(18-B1)	信号機等設置	高崎市ほか				■	■	■	70		-	
		街路整備に合わせて、信号機等を設置することにより、円滑・快適な交通環境を確立する。																			
												小計							70		
											合計							70			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定所管課において評価を実施	整備計画の交付期間の最終年度に予定しているすべての要素事業が完了後に実施
	公表の方法
	群馬県ホームページにおいて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(都)赤岩真福寺線、(都)本町線、(都)北部環状線の整備が完了し、(都)前橋長瀬線での一部整備が完了したことで、交通拠点から産業団地、鉄道駅へのアクセス機能が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	(都)本町線、(都)前橋長瀬線では、車道拡幅と合わせて無電柱化が行われたことで、災害時の安全な通行が確保された。また、各路線で歩道や自転車通行空間を合わせて整備し、通学児童生徒をはじめとした歩行者・自転車の安全な通行が確保された。

○ 特記事項(今後の方針等)

未完成の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	5箇所	計画策定時に予定されていた（都）群馬総社駅西口線について、駅周辺のまちづくりを含めて事業化に向けた検討に時間を要し、計画期間内の事業着手に至らなかったため。
	最 終 実績値	4箇所	